

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おかえりホームきゅら海		
○保護者評価実施期間	7年 3月 17日 ～ 7年 4月 11日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	7年 3月 17日 ～ 7年 4月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	7年 4月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備について、非常に室内が広く、かつ安全・清潔に保たれている。利用児童の活動を制限されずに行うことができる。施設敷地内に駐車スペースが十分にある駐車場を持ち、安全に施設内に受け入れることができる。	室内はバリアフリーになっており、車いすの児童も安心して利用できるようにしている。また静養室や学習部屋も設け、利用児個々の状態に応じて支援ができるようにしている。	利用時児童がより楽しく安全に過ごせるように、遊具、外遊び施設の選定を今後も行っていく。
2	適切な支援の提供について、作成した個別支援計画に基づきサービス提供が行われている。	室内での活動だけでなく、公園や外部施設へのお出かけを積極的行い、プログラムが固定しないようにし、個々の児童に適した支援を行っている。	「ゆびまるこ」の創作活動に加え、「療育ヨガ」を取り入れて心の発達、身体の使い方の上達を目指す。
3	保護者への説明等について、情報伝達・共有、意思疎通を積極的に行っている。保育・療育に就いての経験豊富なスタッフが多い。	送迎時にその日の様子を報告するだけでなく、インスタグラムでの動画配信によって映像でも確認できるようにしている。	利用時に効果的であった遊び、学びの情報を家族と共有し、家庭でも活かしてもらえるように働きかけていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が提供されていない。	放課後児童クラブや児童館への移動と時間を設定する事が難しい。	交流日を設定し、希望者を募り、デイサービス利用組と交流組を同時に対応できる体制を作っていく。
2	父母の会の活動を支援する事や、保護者会の開催による保護者同士での交流の機会を設けられていない。	利用児の利用日、利用時間の違う中での交流会の設定が難しい。	夏祭りや関連企業のお花見会を開催しており、そちらへの招待を兼ねて交流できる場を設定していく。
3	外部研修を受ける人員に偏りがある。	勤務時間、シフトの問題により、受講できないメンバーが出る。	シフト変更により、できるだけ偏りが出ないように対応していく。